

2024年(令和6年)上期 景気動向調査結果

～景況感是一部で持ち直しがみられるものの

「仕入・原材料価格の上昇」「エネルギー価格の高騰」により悪化～

- 目的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2024年1月1日から2024年6月30日(2024年(令和6年)上期)
- 調査実施期間 : 2024年7月5日から2024年7月25日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・副部会長・女性会・青年部・振興委員等 560 事業所
- 回答数 : 回収数 140 (回収率 25.0%)

業種		従業員数	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
製造業	製造業		8	14	6	7	10	45
	建設業		2	5	3	2	2	14
	小売業		5	3	1	2	2	13
	卸売業		3	3	4	4	1	15
	サービス業		16	9	7	4	4	40
	その他業		2	2	1	1	7	13
合計			36	36	22	20	26	140

● 概要

2024年上期(1月～6月)の景気動向は主要指標である業況、売上、採算の各DI値を見ると、業況DI値はプラス域にあるものの前期に比べ製造業、非製造業ともマイナスとなり悪化している。売上DI値についても、価格転嫁や営業努力により、非製造業ではプラス域となったが、前期比では製造業、非製造業ともマイナスとなり悪化している。採算DI値についても製造業、非製造業とも「仕入・原材料価格の高騰」や「エネルギー価格の高騰をはじめとする諸経費の負担」が増加したことにより、大きく悪化している。ただし、卸売業では「価格転嫁」により業況DI、売上DI、採算DIが前期比ともプラスとなり好転する結果となった。また、サービス業では、「コロナ禍からの回復傾向」や「インバウンド需要の回復」など、経済活動の活発化により業況DI、売上DI、採算DIが、前期比はマイナスとなるも今期はプラス域を維持している。こうしたことから「一部の業種で回復しているものの総じて、どの業種も悪化傾向」となっている。主要指標以外の項目として資金繰りDI値は、非製造業では、全体として今期、前期比ともプラス域(好転、やや好転)で推移したものの、製造業では今期、前期比ともマイナスとなっており、厳しい状況が続いていることが伺え、今後の日銀の金利政策の動向によっては、資金繰りへの更なる影響も懸念され注視していく必要がある。

直面する課題(10ページ)として、製造業では、前期に引き続き、「仕入・原材料単価の上昇」が最大の課題として挙げられ、次いで「需要の停滞」、「人件費の増加」が挙げられた。非製造業では「仕入・原材料単価の上昇」「従業員・熟練技術者の確保難」「人件費の増加」が課題として挙げられ、非製造業のうち、建設業では前期において最大課題として挙げられた「下請負単価の上昇」が後退し、今期の最大課題は「仕入・原材料単価の上昇」となり、次いで「従業員・熟練技術者の確保難」が挙げられた。小売業、卸売業では前期に引き続き「仕入・原材料単価の上昇」、サービス業では「人件費の増加」その他業では「従業員・熟練技術者の確保難」がそれぞれ最大の課題として挙げられた。

先行きについては、卸売業を除く全業種で今期比は好転傾向の見通しを示した。製造業の好転要因として、「需要の回復」や「新規顧客の増加」が挙げられ、非製造業では、「コロナからの回復」「インバウンド需要の増加」や「営業活動による新規顧客獲得」などが挙げられた。来期の採算DIでは製造業、非製造業とも「適正価格への対応による販売価格の上昇」や「生産性効率の改善」などを理由に、好転する見通しとなり今後への期待感が伺えた。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

- ・DXの推進
- ・新商品開発
- ・賃上げ、人材確保、働き方改革
- ・価格転嫁
- ・国内・海外への販路拡大
- ・BtoCによる販路開拓

●非製造業

- ・DXの推進
- ・SNS活用の推進
- ・福利厚生の充実
- ・賃上げ、働き方改革
- ・販路拡大
- ・設備投資
- ・SDGsへの取組
- ・人材の確保・育成

※「DI値」とは

デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

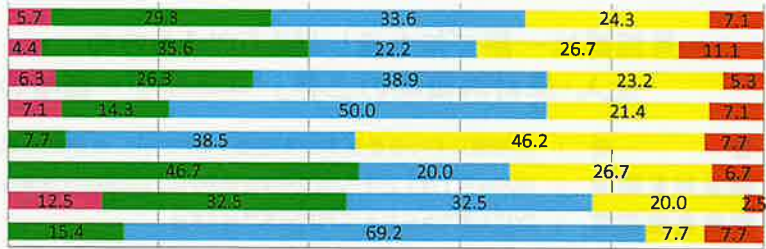
【業況DI値】

今期(2024年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 3.6 前期比 ▲10.4)
製造業	(今期 2.2 前期比 ▲4.1)
非製造業	(今期 4.1 前期比 ▲13.9)
建設業	(今期 ▲7.1 前期比 ▲7.1)
小売業	(今期 ▲46.2 前期比 ▲52.8)
卸売業	(今期 13.3 前期比 27.6)
サービス業	(今期 22.5 前期比 ▲17.5)
その他業	(今期 0.0 前期比 ▲26.7)

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2024年1月～6月)の状況

業況DI値は、製造業で2.2(前期比▲4.1)、非製造業で4.1(前期比▲13.9)、全業種で3.6(前期比▲10.4)となった。製造業、非製造業でプラス域にあるものの前期比はマイナスとなり、特に建設業と小売業では今期、前期比ともマイナスとなり厳しい状況が伺えた。建設業、小売業の悪化理由として、「市況の冷え込み、建設業界の不振、景気停滞」や「円安による商品や材料の仕入価格上昇、エネルギー価格上昇による消費者の負担増、購買力の低下」などが挙げられた。一方、卸売業では「価格転嫁」により今期、前期比ともプラスとなり、また、サービス業では前期比でマイナスとなったもののプラス域(好転、やや好転)を維持しており、その要因として「コロナ禍からの回復傾向」や「インバウンド需要の回復」など、経済活動の活発化が寄与していることが伺えた。

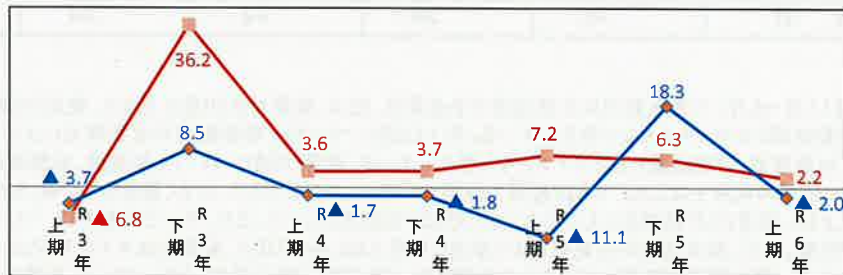
※前期比とは、前回調査(令和5年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■今期のDI値

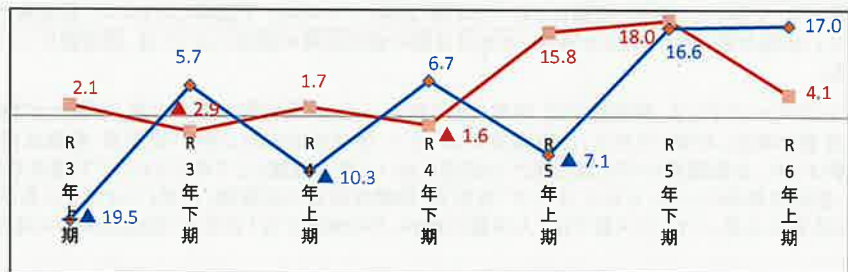
◆前期調査時点での
今期見通し



非製造業

■今期のDI値

◆前期調査時点での
今期見通し



来期(2024年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 13.6 今期比 10.0)
製造業	(見通し 17.8 今期比 15.6)
非製造業	(見通し 11.6 今期比 7.5)
建設業	(見通し 14.2 今期比 21.3)
小売業	(見通し 0.0 今期比 46.2)
卸売業	(見通し ▲20.0 今期比 ▲33.3)
サービス業	(見通し 25.0 今期比 2.5)
その他業	(見通し 15.4 今期比 15.4)

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(2024年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では15.6ポイント改善の17.8、非製造業では7.5ポイント改善の11.6、全業種で10.0ポイント改善の13.6と見通している。非製造業における卸売業のみ悪化となったものの、製造業、非製造業とも今期比でプラスとなり好転する見通しとなった。製造業の好転要因として、「需要の回復」や「新規顧客の増加」が挙げられ、非製造業では、「コロナからの回復」「インバウンド需要の増加」や「営業活動による新規顧客獲得」などが好転要因として挙げられた。

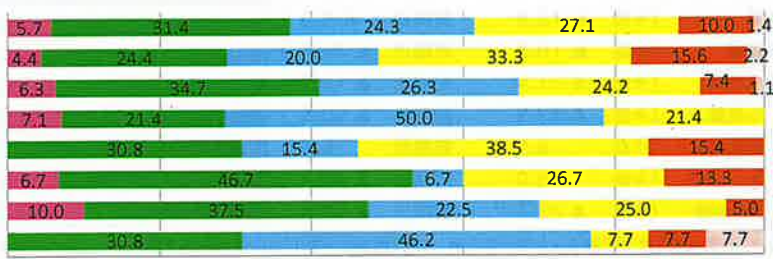
【売上DI値】

今期（2024年1月～6月）のDI値

全業種	（今期 0.0 前期比 ▲23.1）
製造業	（今期 ▲20.1 前期比 ▲34.4）
非製造業	（今期 9.4 前期比 ▲18.3）
建設業	（今期 7.1 前期比 0.4）
小売業	（今期 ▲23.1 前期比 ▲29.8）
卸売業	（今期 13.4 前期比 27.6）
サービス業	（今期 17.5 前期比 ▲31.1）
その他業	（今期 15.4 前期比 ▲44.6）

（売上）

（単位：%）



■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

今期（2024年1月～6月）の状況

売上DI値は、製造業で▲20.1（前期比▲34.4）、非製造業で9.4（前期比▲18.3）、全業種で0.0（前期比▲23.1）となり、製造業では、前期比、今期ともマイナスとなり、今期は4年ぶりに悪化に転じ、製造業の悪化要因として、「受注量の減少」「原材料の高騰」などが挙げられた。非製造業では小売業のみ、今期、前期比ともマイナスとなったものの小売業を除く全ての業種が今期プラス域（増加、やや増加）で推移した。非製造業のうちサービス業、その他業において前期比でマイナスとなったが、「コロナ禍からの回復」「価格転嫁による値上げ」や「営業努力」などにより、今期プラス域を維持した。

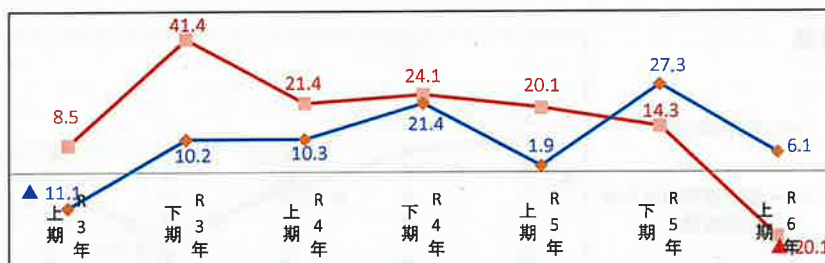
※前期比とは、前回調査（令和5年12月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■実際のDI値

◆前期調査時点での
今期見通し



非製造業

■実際のDI値

◆前期調査時点での
今期見通し



来期（2024年7月～12月）の見通しDI値

全業種	（見通し 15.0 今期比 15.0）
製造業	（見通し 13.3 今期比 33.4）
非製造業	（見通し 15.8 今期比 6.4）
建設業	（見通し 7.1 今期比 0.0）
小売業	（見通し ▲15.4 今期比 7.7）
卸売業	（見通し ▲20.0 今期比 ▲33.4）
サービス業	（見通し 32.5 今期比 15.0）
その他業	（見通し 46.1 今期比 30.7）

（売上）

（単位：%）



■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期（2024年7月～12月）の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で33.4ポイント改善の13.3、非製造業で6.4ポイント改善の15.8、全業種で15.0ポイント改善の15.0と見通している。
非製造業のうち、小売業、卸売業では「仕入価格の高騰」などにより悪化傾向の見通しが示されているが、全体として「コロナ禍からの回復」や「価格転嫁による販売単価の上昇」など、今後も売上は回復傾向で推移する見通しとなった。

【 採算DI値 】

今期(2024年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲12.1 前期比 ▲19.1)
製造業	(今期 ▲15.6 前期比 ▲9.5)
非製造業	(今期 ▲10.5 前期比 ▲24.4)
建設業	(今期 ▲21.4 前期比 ▲14.7)
小売業	(今期 ▲53.9 前期比 ▲60.6)
卸売業	(今期 6.7 前期比 6.7)
サービス業	(今期 5.0 前期比 ▲20.7)
その他業	(今期 ▲23.1 前期比 ▲49.8)

(採 算)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2024年1月～6月)の状況

採算DI値は、製造業で▲15.6(前期比▲9.5)、非製造業で▲10.5(前期比▲24.4)、全業種で▲12.1(前期比▲19.1)となった。製造業、非製造業ともに今期、前期比とも悪化となった。製造業では「売上減少」「物価高」や「仕入れコストの上昇」などの影響が大きく、依然として厳しい状況が伺えた。

非製造業のうち、卸売業を除き、前期比マイナスとなり、全体の悪化要因として、「原材料高」「燃料費の高騰」や「円安による影響」などが挙げられた一方、卸売業では「価格交渉」や「価格改定」など価格転嫁への取組みが好転要因として挙げられた。

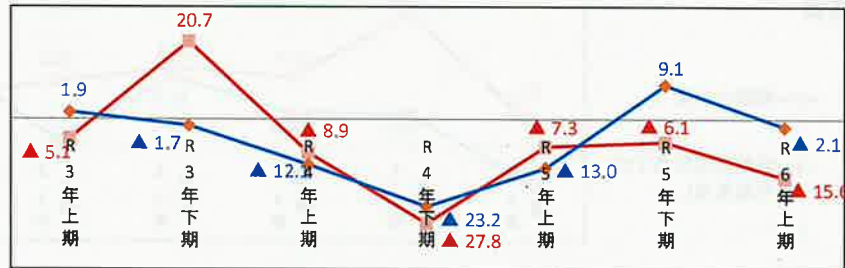
※前期比とは、前回調査(令和5年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

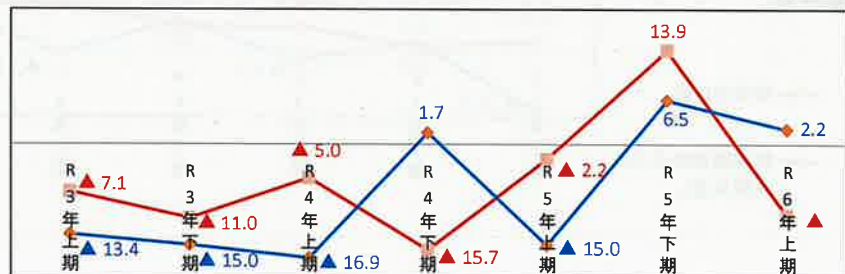
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

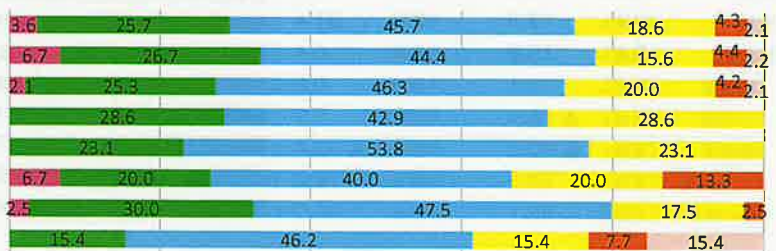


来期(2024年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 6.4 今期比 18.5)
製造業	(見通し 13.4 今期比 29.0)
非製造業	(見通し 3.2 今期比 13.7)
建設業	(見通し 0.0 今期比 21.4)
小売業	(見通し 0.0 今期比 53.9)
卸売業	(見通し ▲6.6 今期比 ▲13.3)
サービス業	(見通し 12.5 今期比 7.5)
その他業	(見通し ▲7.7 今期比 15.4)

(採 算)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2024年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で29.0ポイント改善の13.4、非製造業で13.7ポイントの改善の3.2、全業種で18.5ポイント改善の6.4と見通している。

製造業、非製造業とも「適正価格への対応による販売価格の上昇」や「生産性効率の改善」などを理由に、来期見通しは今期比ともに改善傾向が示された。

【 資金繰りDI値 】

今期(2024年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲1.5 前期比 ▲1.5)
製造業	(今期 ▲13.3 前期比 ▲9.2)
非製造業	(今期 4.2 前期比 2.0)
建設業	(今期 0.1 前期比 ▲13.2)
小売業	(今期 ▲7.7 前期比 25.6)
卸売業	(今期 6.7 前期比 ▲7.6)
サービス業	(今期 2.5 前期比 ▲6.1)
その他業	(今期 23.1 前期比 23.0)

(資金繰り)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2024年1月～6月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で▲13.3(前期比▲9.2)、非製造業で4.2(前期比2.0)、全業種で▲1.5(前期比▲1.5)となった。

資金繰りDI値については、非製造業では、全体として今期、前期比ともプラス域(好転、やや好転)で推移したものの、製造業では今期、前期比ともマイナスとなっており、厳しい状況が続いていることが伺え、今後の日銀の金利政策の動向によっては、資金繰りへの更なる影響も懸念され注視していく必要がある。

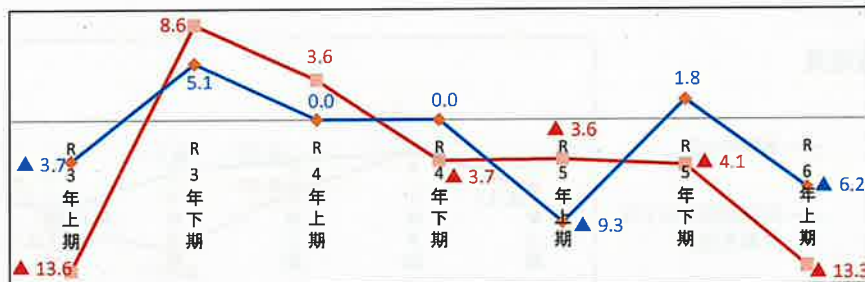
※前期比とは、前回調査(令和5年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

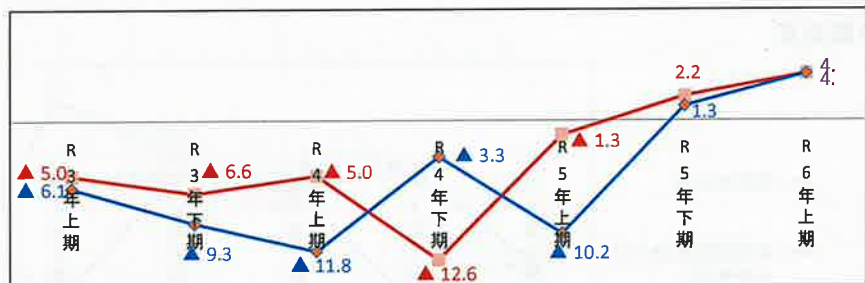
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

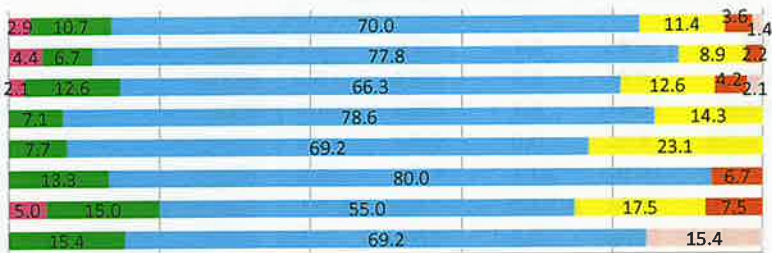


来期(2024年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲1.4 今期比 0.1)
製造業	(見通し 0.0 今期比 13.3)
非製造業	(見通し ▲2.1 今期比 ▲6.3)
建設業	(見通し ▲7.2 今期比 ▲7.3)
小売業	(見通し ▲15.4 今期比 ▲7.7)
卸売業	(見通し 6.6 今期比 ▲0.1)
サービス業	(見通し ▲5.0 今期比 ▲7.5)
その他業	(見通し 15.4 今期比 ▲7.7)

(資金繰り)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

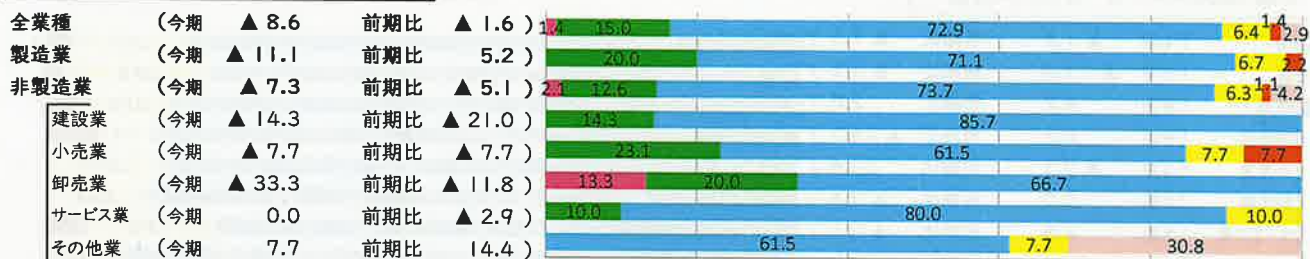
■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2024年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で13.3ポイント改善の0.0、非製造業で▲6.3ポイント悪化の▲2.1、全業種で▲1.4と見通している。非製造業では、今期プラス域(好転、やや好転)を示したものの来期は、マイナス域(悪化、やや悪化)に転じ、資金繰りは悪化する見通しとなった。

【在庫DI値】

今期(2024年1月～6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2024年1月～6月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲11.1(前期比5.2)、非製造業で▲7.3(前期比▲5.1)、全業種で▲8.6(前期比▲1.6)となった。製造業では、前期比でプラスとなるも、依然として在庫の過剰傾向が続いており、非製造業でもサービス業、その他業を除き、全体としては、在庫の過剰傾向が続いている。

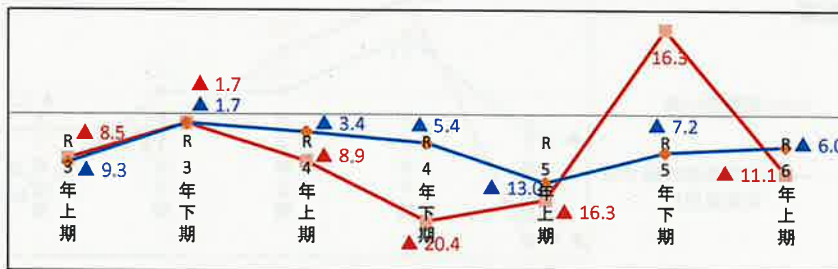
※前期比とは、前回調査(令和5年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

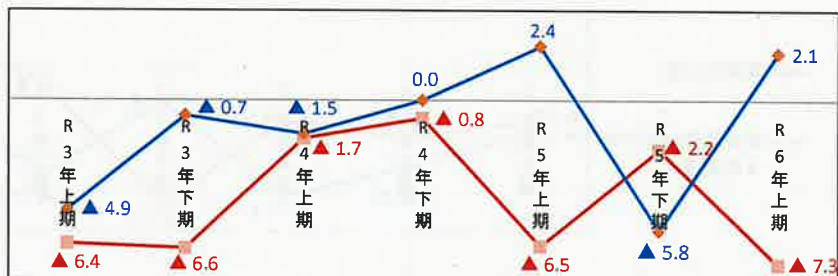
● 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

● 前期調査時点での
今期見通し



来期(2024年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2024年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で13.3ポイント改善の2.2、非製造業で9.4ポイント改善の2.1、全業種で10.7ポイント改善の2.1と見通している。製造業、非製造業では卸売業を除き、今期比改善のプラス域となり、在庫は、やや不足傾向の見通しとなった。

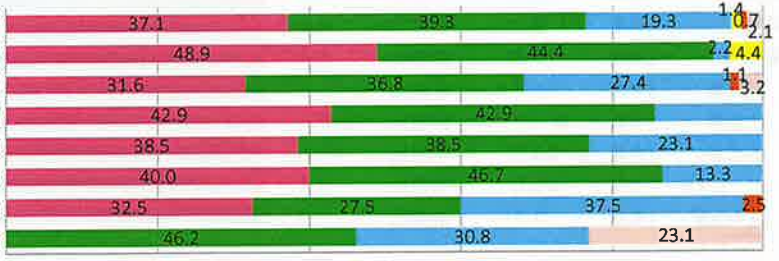
【 仕入単価DI値 】

今期(2024年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲74.3 前期比 3.4)
製造業	(今期 ▲88.9 前期比 ▲9.3)
非製造業	(今期 ▲67.3 前期比 9.3)
建設業	(今期 ▲85.8 前期比 14.2)
小売業	(今期 ▲77.0 前期比 16.3)
卸売業	(今期 ▲86.7 前期比 ▲1.0)
サービス業	(今期 ▲57.5 前期比 13.8)
その他業	(今期 ▲46.2 前期比 ▲6.2)

(仕入単価)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2024年1月～6月)の状況

仕入単価DI値は、製造業で▲88.9(前期比▲9.3)、非製造業▲67.3(前期比9.3)、全業種で▲74.3(前期比3.4)となった。製造業、非製造業ともに今期マイナスとなり、前期調査時点での今期の見通しを下回る結果となり、仕入単価の上昇が継続していることが伺えた。製造業、非製造業のうち、卸売業、その他業では前期比マイナスとなり、上昇傾向が強まった結果となった。

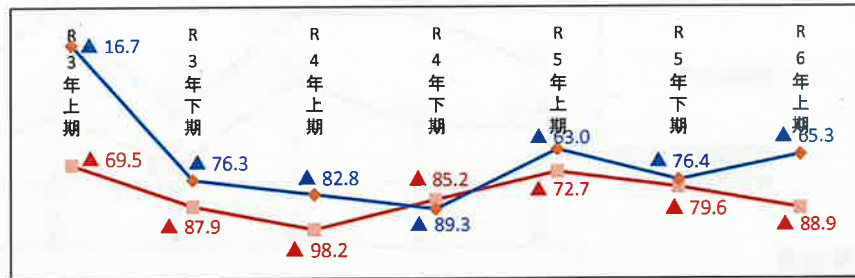
※前期比とは、前回調査(令和5年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

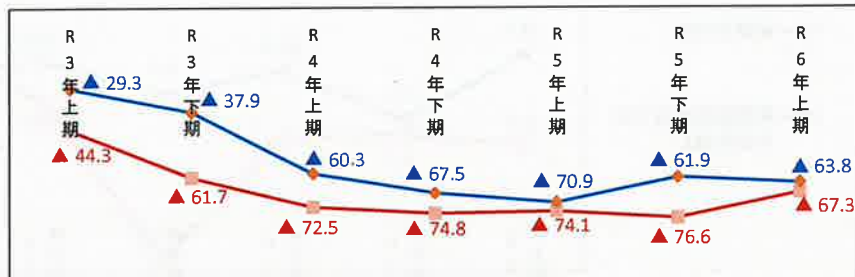
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

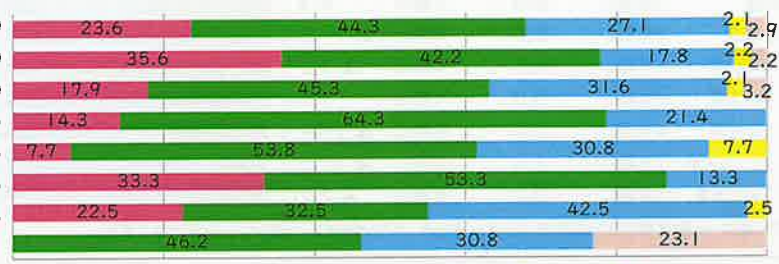


来期(2024年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲65.8 今期比 8.5)
製造業	(見通し ▲75.6 今期比 13.3)
非製造業	(見通し ▲61.1 今期比 6.2)
建設業	(見通し ▲78.6 今期比 7.2)
小売業	(見通し ▲53.8 今期比 23.2)
卸売業	(見通し ▲86.6 今期比 0.1)
サービス業	(見通し ▲52.5 今期比 5.0)
その他業	(見通し ▲46.2 今期比 0.0)

(仕入単価)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2024年7月～12月)の見通し

今期と比較した仕入単価の見通しDI値は、製造業で13.3ポイント改善の▲75.6、非製造業で6.2ポイント改善の▲61.1、全業種で8.5ポイント改善の▲65.8と見通している。製造業、非製造業ともに今期比プラスとなったものの、全業種で来期の見通しは、依然大幅なマイナス域(上昇、やや上昇)で推移し、今後も利益率の圧迫など影響は続くものと考えられる。

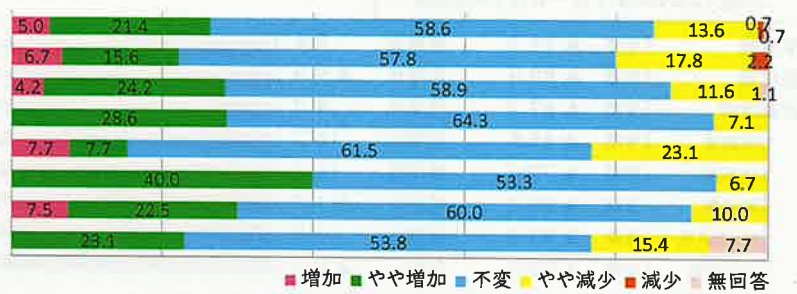
【 従業員数DI値 】

今期（2024年1月～6月）のDI値

全業種	（今期）	12.1	前期比	5.1
製造業	（今期）	2.3	前期比	8.4
非製造業	（今期）	16.8	前期比	3.0
建設業	（今期）	21.5	前期比	▲45.2
小売業	（今期）	▲7.7	前期比	▲7.7
卸売業	（今期）	33.3	前期比	47.6
サービス業	（今期）	20.0	前期比	5.8
その他業	（今期）	7.7	前期比	7.7

（従業員数）

（単位：%）



今期（2024年1月～6月）の状況

従業員数DI値は、製造業で2.3（前期比8.4）、非製造業で16.8（前期比3.0）、全業種で12.1（前期比5.1）となった。製造業では前期マイナス（減少傾向）であったが、今期はプラスとなり、非製造業では小売業を除く全ての業種で今期プラスとなり増加傾向を示した。一方で従業員の過不足については全業種（DI値+37.2）で大幅に不足しており、「人手不足」が深刻な経営課題となっていることが伺えた。

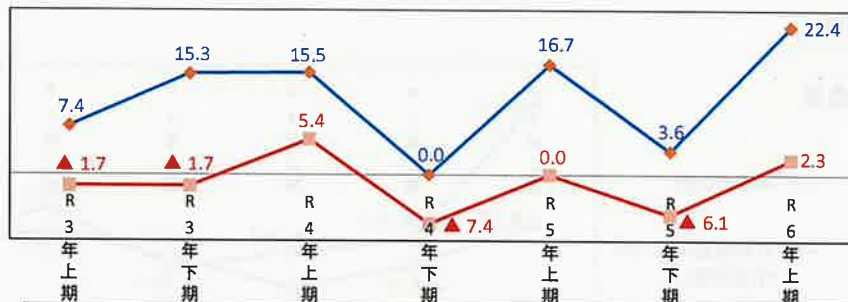
※前期比とは、前回調査（令和5年12月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

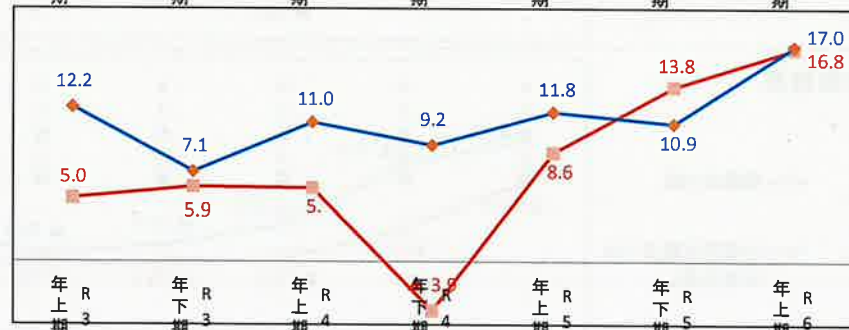
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

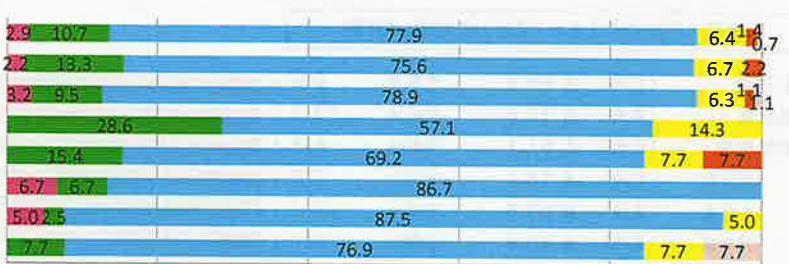


来期（2024年7月～12月）の見通しDI値

全業種	（見通し）	5.8	今期比	▲6.3
製造業	（見通し）	6.6	今期比	4.3
非製造業	（見通し）	5.3	今期比	▲11.5
建設業	（見通し）	14.3	今期比	▲7.2
小売業	（見通し）	0.0	今期比	7.7
卸売業	（見通し）	13.4	今期比	▲19.9
サービス業	（見通し）	2.5	今期比	▲17.5
その他業	（見通し）	0.0	今期比	▲7.7

（従業員数）

（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不变 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期（2024年7月～12月）の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で4.3ポイント上昇の6.6、非製造業で▲11.5ポイント下降の5.3、全業種では▲6.3ポイント下降の5.8と見通している。製造業では今期比で増加傾向を示し、非製造業では小売業を除き今期比で減少傾向を示したが、全ての業種でプラス域（増加、やや増加）の増加傾向となり、全体としては増加の見通しとなった。従業員の過不足については、来期においても全業種（DI値+32.9）で不足の見通しとなっており、全体として従業員の増加を見通しているものの「人手不足」の解消には至らず、引き続き深刻な課題と捉えられていることが伺えた。

【設備DI値】

今期(2024年1月～6月)のDI値

全業種	(今期)	11.4	前期比	▲1.2)
製造業	(今期)	11.1	前期比	5.0)
非製造業	(今期)	11.6	前期比	▲4.3)
建設業	(今期)	28.6	前期比	15.3)
小売業	(今期)	7.7	前期比	▲5.6)
卸売業	(今期)	6.7	前期比	▲21.9)
サービス業	(今期)	7.5	前期比	▲6.8)
その他業	(今期)	15.4	前期比	2.1)

(設備)

(単位:%)



■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2024年1月～6月)の状況

設備DI値は、製造業で11.1(前期比+5.0)、非製造業で11.6(前期比▲4.3)、全業種で11.4(前期比▲1.2)となった。製造業、非製造業ともにプラス域で推移し、前期に引き続き設備不足の傾向がうかがえ、非製造業のうち、とりわけ建設業では前期に比べ不足傾向が強まった。

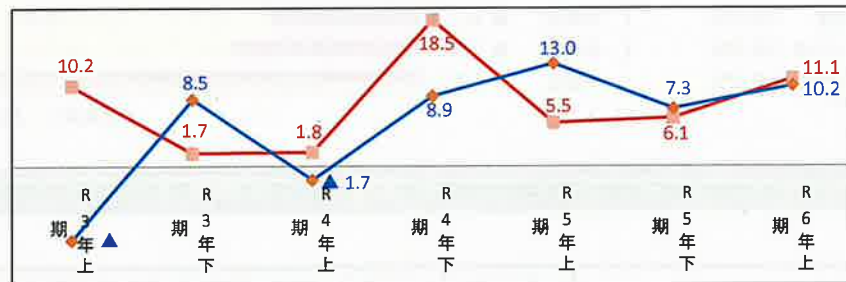
※前期比とは、前回調査(令和5年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

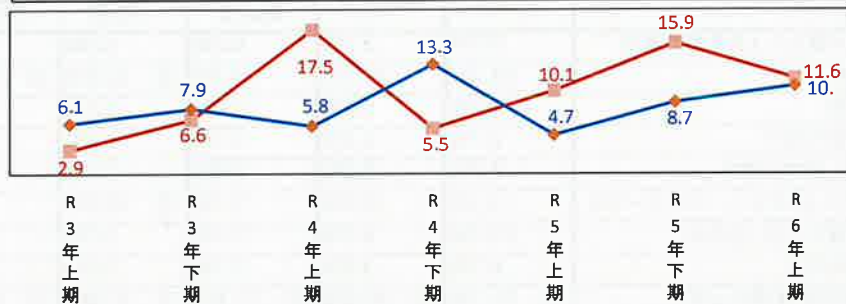
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

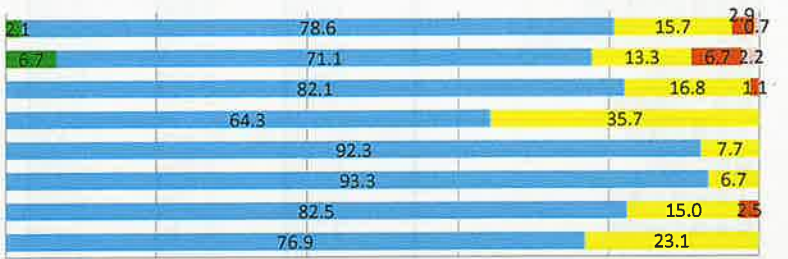


来期(2024年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し)	16.5	今期比	5.1)
製造業	(見通し)	13.3	今期比	2.2)
非製造業	(見通し)	17.9	今期比	6.3)
建設業	(見通し)	35.7	今期比	7.1)
小売業	(見通し)	7.7	今期比	0.0)
卸売業	(見通し)	6.7	今期比	0.0)
サービス業	(見通し)	17.5	今期比	10.0)
その他業	(見通し)	23.1	今期比	7.7)

(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2024年7月～12月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で+2.2ポイントの13.3、非製造業で+6.3ポイントの17.9、全業種で+5.1ポイントの16.5と見通しており、来期においても製造業、非製造業ともに設備不足が続く見通しとなった。

【 新規設備投資 】

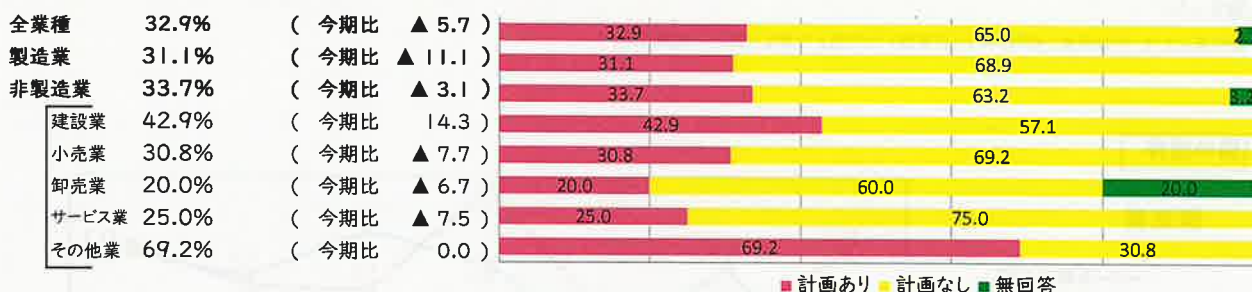
◆今期（2024年1月～6月）の新規設備投資を実施した割合

（単位：%）



◆来期（2024年7月～12月）の新規設備投資を計画している割合

（単位：%）



【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%
需要の停滞	② 33.3%	21.1%	14.3%	② 30.8%	① 40.0%	15.0%	15.4%
為替差損	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	6.7%	4.2%	7.1%	0.0%	0.0%	7.5%	0.0%
新規参入業者の増加	2.2%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	7.7%
製品（消費者・利用者等）ニーズの変化への対応	13.3%	10.5%	7.1%	② 30.8%	6.7%	7.5%	7.7%
生産設備の不足・老朽化	22.2%	6.3%	7.1%	0.0%	6.7%	2.5%	③ 23.1%
原材料の不足	6.7%	3.2%	7.1%	0.0%	6.7%	2.5%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 51.1%	① 40.0%	① 71.4%	① 53.8%	① 40.0%	③ 35.0%	7.7%
下請負単価の上昇	0.0%	9.5%	③ 42.9%	0.0%	0.0%	5.0%	7.7%
官公需要の停滞	2.2%	2.1%	0.0%	0.0%	6.7%	2.5%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	5.3%	0.0%	15.4%	6.7%	0.0%	15.4%
金利負担の増加	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	7.7%
事業資金の借入難	2.2%	9.5%	7.1%	7.7%	6.7%	15.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	2.2%	2.1%	0.0%	7.7%	0.0%	2.5%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	13.3%	9.5%	7.1%	7.7%	13.3%	7.5%	15.4%
人件費の増加	③ 26.7%	③ 31.6%	21.4%	③ 23.1%	③ 26.7%	① 40.0%	② 30.8%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%
駐車場の確保難	2.2%	2.1%	7.1%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	2.2%	8.4%	0.0%	15.4%	6.7%	7.5%	15.4%
従業員・熟練技術者の確保難	22.2%	② 37.9%	② 50.0%	③ 23.1%	② 33.3%	② 37.5%	① 46.2%
燃料費（電気料金を含む）の高騰	20.0%	20.0%	7.1%	③ 23.1%	13.3%	22.5%	② 30.8%
コロナの影響	0.0%	1.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウクライナ情勢の影響	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	2.2%	5.3%	0.0%	7.7%	0.0%	10.0%	0.0%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2024年1月1日から2024年6月30日（2024年（令和6年）上期）
- 調査実施期間：2024年7月5日から2024年7月25日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模事業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 360 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：74（回答率 20.6%）

業種		従業員数	0～5人	6～20人	合計
製造業			10	14	24
非製造業	建設業		3	5	8
	小売業		11		11
	卸売業		7		7
	サービス業		20	1	21
	その他業		3		3
合計			54	20	74

業況DI

今期（2024年1月～6月）のDI値

全業種	（今期 ▲2.7 前期比 ▲1.4）
製造業	（今期 0.0 前期比 0.0）
非製造業	（今期 ▲4.0 前期比 ▲1.9）
建設業	（今期 12.5 前期比 22.5）
小売業	（今期 ▲18.2 前期比 ▲1.5）
卸売業	（今期 ▲57.1 前期比 ▲19.6）
サービス業	（今期 28.6 前期比 ▲2.6）
その他業	（今期 ▲100.0 前期比 ▲100.0）

（業況）

（単位：%）

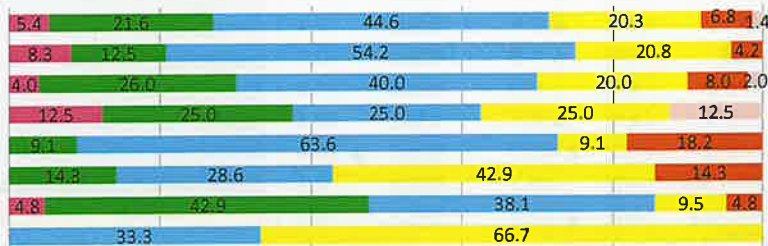


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期（2024年7月～12月）の見通しDI値

全業種	（来期 ▲0.1 今期比 2.6）
製造業	（来期 ▲4.2 今期比 ▲4.2）
非製造業	（来期 2.0 今期比 6.0）
建設業	（来期 12.5 今期比 0.0）
小売業	（来期 ▲18.2 今期比 0.0）
卸売業	（来期 ▲42.9 今期比 14.2）
サービス業	（来期 33.4 今期比 4.8）
その他業	（来期 ▲66.7 今期比 33.3）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

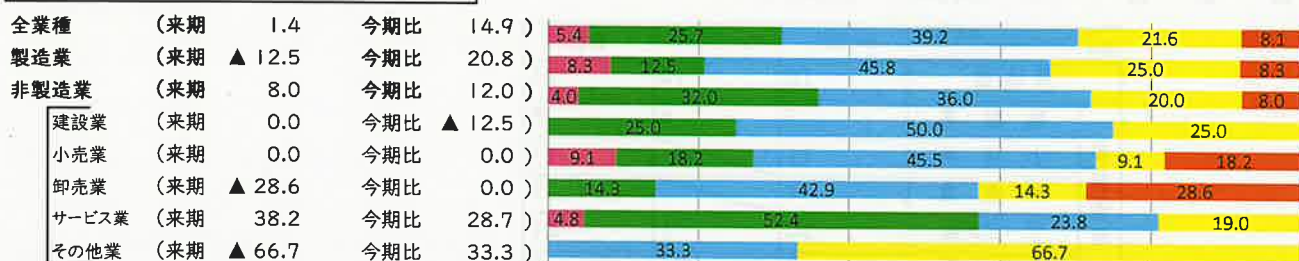
売上DI

今期(2024年1月~6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

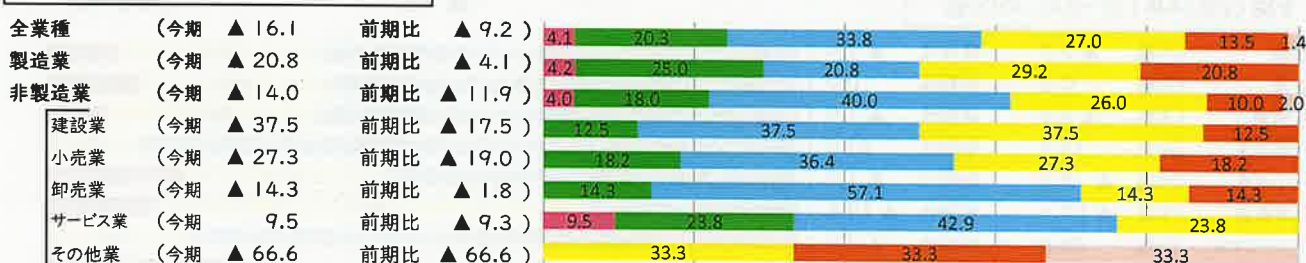
来期(2024年7月~12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

採算DI

今期(2024年1月~6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

来期(2024年7月~12月)の見通しDI値



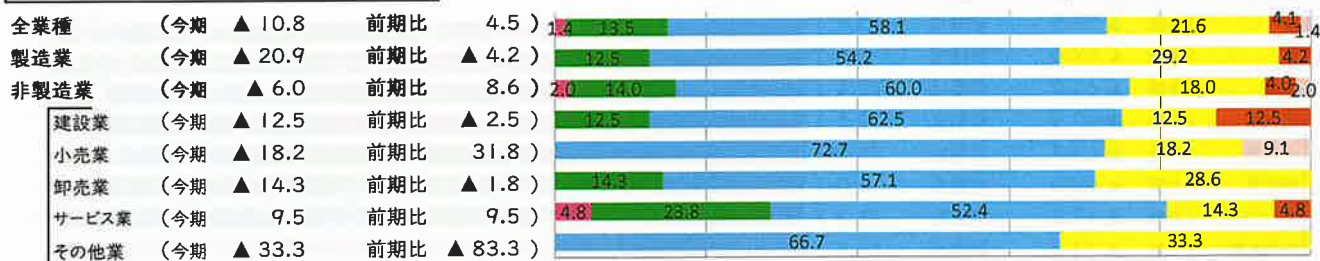
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

資金繰りDI

今期(2024年1月~6月)のDI値

(資金繰り)

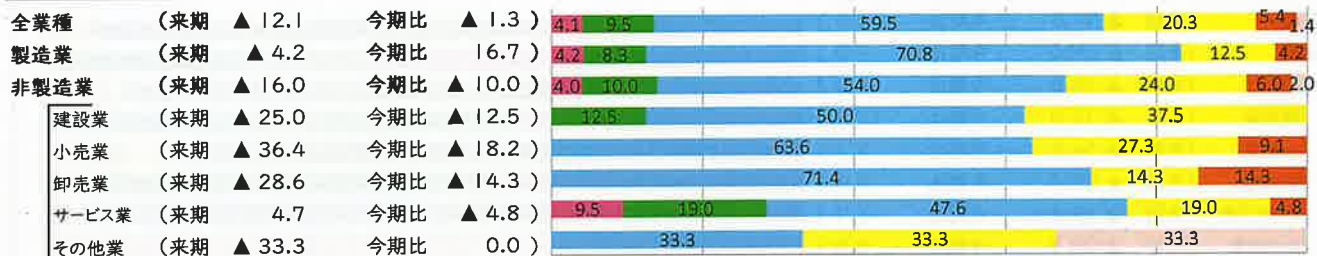
(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(2024年7月~12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

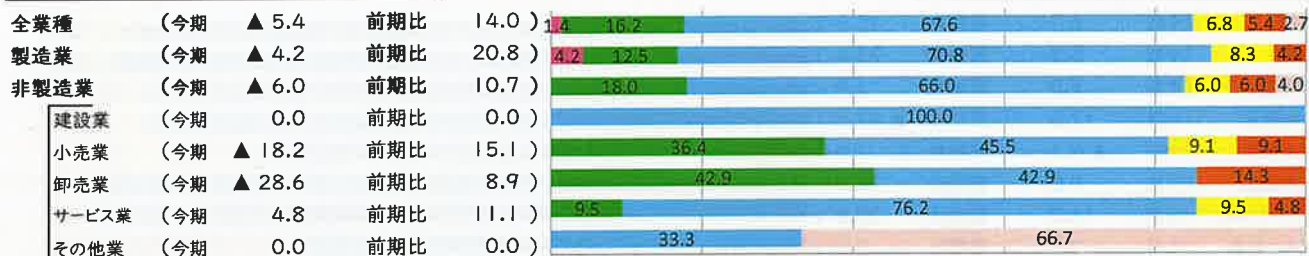
■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

在庫DI

今期(2024年1月~6月)のDI値

(在庫)

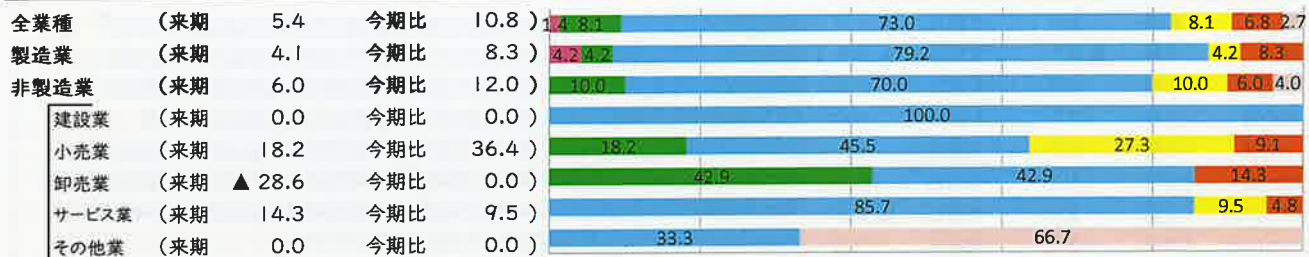
(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■過剰 ■やや過剰 ■適正 ■やや不足 ■不足 ■無回答

来期(2024年7月~12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■過剰 ■やや過剰 ■適正 ■やや不足 ■不足 ■無回答

仕入単価DI

今期(2024年1月~6月)のDI値

全業種	(今期 ▲75.5 前期比 13.4)
製造業	(今期 ▲100.0 前期比 0.0)
非製造業	(今期 ▲64.0 前期比 19.4)
建設業	(今期 ▲87.5 前期比 2.5)
小売業	(今期 ▲63.7 前期比 28.0)
卸売業	(今期 ▲100.0 前期比 0.0)
サービス業	(今期 ▲47.5 前期比 21.3)
その他業	(今期 ▲33.3 前期比 16.7)

(仕入単価)

(単位:%)

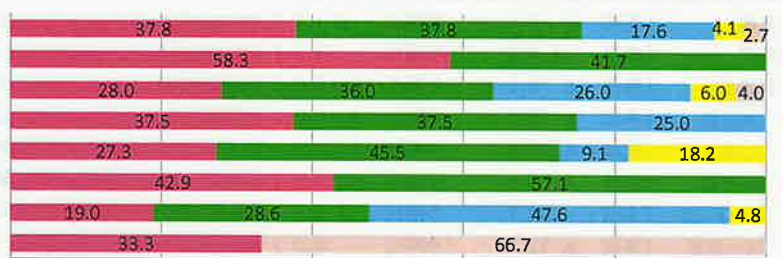


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2024年7月~12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲71.5 今期比 4.0)
製造業	(来期 ▲100.0 今期比 0.0)
非製造業	(来期 ▲58.0 今期比 6.0)
建設業	(来期 ▲75.0 今期比 12.5)
小売業	(来期 ▲54.6 今期比 9.1)
卸売業	(来期 ▲100.0 今期比 0.0)
サービス業	(来期 ▲42.8 今期比 4.7)
その他業	(来期 ▲33.3 今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

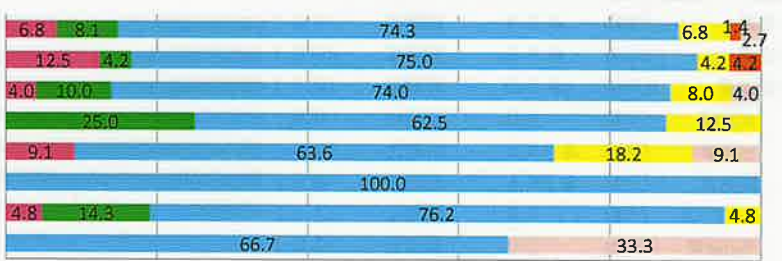
従業員数DI

今期(2024年1月~6月)のDI値

全業種	(今期 6.7 前期比 12.3)
製造業	(今期 8.3 前期比 33.4)
非製造業	(今期 6.0 前期比 1.9)
建設業	(今期 12.5 前期比 ▲47.5)
小売業	(今期 ▲9.1 前期比 7.5)
卸売業	(今期 0.0 前期比 12.5)
サービス業	(今期 14.3 前期比 20.6)
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)

従業員数

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2024年7月~12月)の見通しDI値

全業種	(来期 5.4 今期比 ▲1.3)
製造業	(来期 ▲0.1 今期比 ▲8.4)
非製造業	(来期 8.0 今期比 2.0)
建設業	(来期 12.5 今期比 0.0)
小売業	(来期 0.0 今期比 9.1)
卸売業	(来期 14.3 今期比 14.3)
サービス業	(来期 9.5 今期比 ▲4.8)
その他業	(来期 0.0 今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

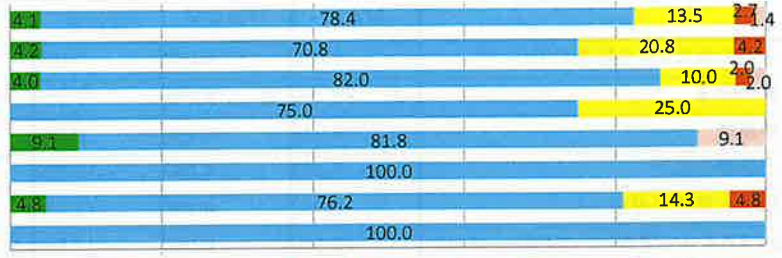
設備DI

今期(2024年1月~6月)のDI値

全業種	(今期 12.1 前期比 1.0)
製造業	(今期 20.8 前期比 12.4)
非製造業	(今期 8.0 前期比 ▲4.5)
建設業	(今期 25.0 前期比 15.0)
小売業	(今期 ▲9.1 前期比 ▲9.1)
卸売業	(今期 0.0 前期比 ▲25.0)
サービス業	(今期 14.3 前期比 ▲4.5)
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)

設備

(単位:%)

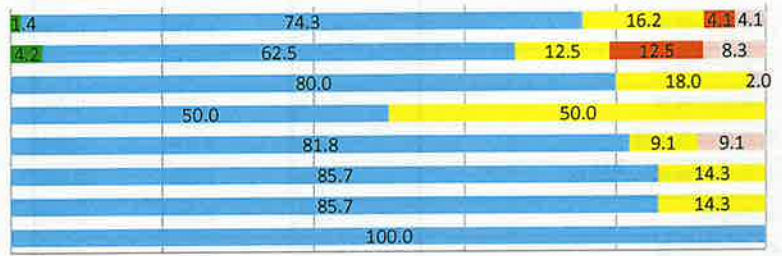


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2024年7月~12月)の見通しDI値

全業種	(来期 18.9 今期比 6.8)
製造業	(来期 20.8 今期比 0.0)
非製造業	(来期 18.0 今期比 10.0)
建設業	(来期 50.0 今期比 25.0)
小売業	(来期 9.1 今期比 18.2)
卸売業	(来期 14.3 今期比 14.3)
サービス業	(来期 14.3 今期比 0.0)
その他業	(来期 0.0 今期比 0.0)



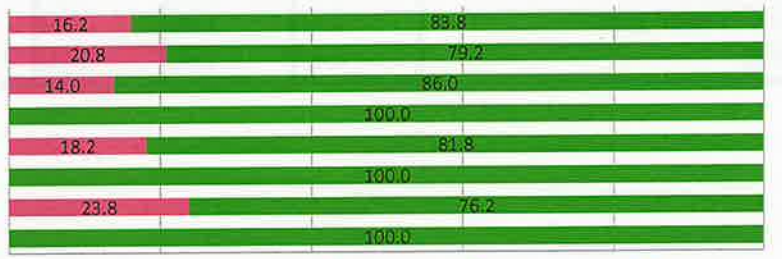
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(2024年1月~6月)の新規設備投資を実施した割合

全業種	(今期 16.2% 前期比 ▲6.0)
製造業	(今期 20.8% 前期比 0.0)
非製造業	(今期 14.0% 前期比 ▲8.9)
建設業	(今期 0.0% 前期比 ▲40.0)
小売業	(今期 18.2% 前期比 ▲15.1)
卸売業	(今期 0.0% 前期比 0.0)
サービス業	(今期 23.8% 前期比 5.0)
その他業	(今期 0.0% 前期比 0.0)

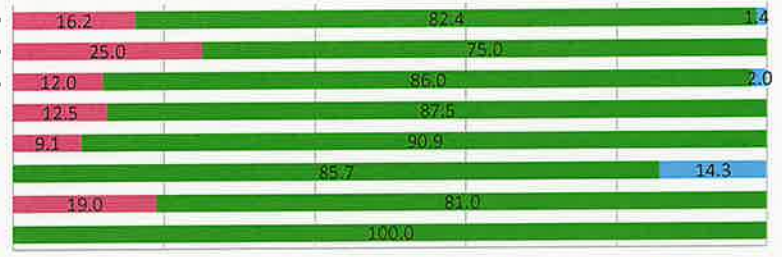


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2024年7月~12月)の新規設備投資を計画している割合

全業種	(来期 16.2% 今期比 0.0)
製造業	(来期 25.0% 今期比 4.2)
非製造業	(来期 12.0% 今期比 ▲2.0)
建設業	(来期 12.5% 今期比 12.5)
小売業	(来期 9.1% 今期比 ▲9.1)
卸売業	(来期 0.0% 今期比 0.0)
サービス業	(来期 19.0% 今期比 ▲4.8)
その他業	(来期 0.0% 今期比 0.0)



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

直面している課題

	製造業		非製造業		建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業					
大企業の進出による競争の激化		0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
需要の停滞	②	29.2%	③	18.0%	12.5%	③	18.2%	②	28.6%	③	14.3%	②	33.3%	
為替差損		4.2%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				0.0%	
売上単価の低下		8.3%		4.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%				0.0%	
新規参入業者の増加		0.0%		4.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%				0.0%	
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応		12.5%		18.0%	12.5%	②	27.3%	②	28.6%	③	14.3%		0.0%	
生産設備の不足・老朽化	③	20.8%		4.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%				0.0%	
原材料の不足		8.3%		2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%				0.0%	
仕入・原材料単価の上昇	①	45.8%	①	52.0%	①	100.0%	①	54.5%	①	57.1%	①	33.3%	33.3%	
下請負単価の上昇		0.0%		4.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%				0.0%	
官公需要の停滞		0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				0.0%	
取引条件の悪化		0.0%		4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	③	14.3%		0.0%	②	33.3%	
金利負担の増加		0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%		0.0%	
事業資金の借入難		4.2%		8.0%	0.0%	9.1%	③	14.3%	9.5%				0.0%	
購買力の他地域への流出		0.0%		2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%				0.0%	
在庫の過剰		0.0%		2.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%				0.0%	
価格への転嫁難		0.0%		14.0%	12.5%	0.0%	②	28.6%	③	14.3%	②	33.3%	33.3%	
人件費の増加		16.7%		10.0%	12.5%	9.1%	0.0%	③	14.3%		0.0%		0.0%	
設備の過剰		0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				0.0%	
代金回収の悪化		0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				0.0%	
駐車場の確保難		4.2%		4.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%				0.0%	
店舗・施設の老朽化		0.0%		8.0%	0.0%	②	27.3%	0.0%	4.8%				0.0%	
従業員・熟練技術者の確保難	②	29.2%	②	22.0%	②	62.5%	9.1%	0.0%	②	23.8%			0.0%	
燃料費(電気料金を含む)の高騰		12.5%	②	22.0%	③	25.0%	③	18.2%	②	28.6%	③	14.3%	①	66.7%
コロナの影響		0.0%		4.0%	12.5%	0.0%	0.0%	③	14.3%		0.0%		0.0%	
ウクライナ情勢の影響		8.3%		2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	③	14.3%		0.0%		0.0%	
その他		0.0%		2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%				0.0%	